



国の悪政から 市民生活と地方自治を守る市政に



日本共産党議員団
高口 講治 議員

3月8日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1) 国の政治に対する見解 (2) 市民生活の現状と対策 (3) 社会保障政策とTPPへの見解と対策 ■2 総合計画を踏まえた新年度予算案について (1) 新年度予算編成の基本的観点 (2) 新年度予算案の評価点と課題 (3) 新年度予算案の国の政策・予算案との整合性 (4) 市財政計画との整合性 (5) 新年度予算案への要望 ■3 水道一元化問題について (1) 水道一元化の手続きと鉅害補償給水打ち切りの根拠 (2) 大牟田市の問題と対策 ■4 世界遺産登録事業について (1) 世界遺産登録事業の全体像 (2) 近代化遺産の保存・活用・取得と情報公開 (3) 個々の近代化遺産及び関連施設の問題 ■5 まちづくりについて (1) 新栄町駅前地区市街地再開発事業 (2) 大牟田市中心市街地活性化基本計画とランドデザインとの整合性 (3) 周辺商店街の活性化 ■6 ごみ処理計画とRDF発電事業について (1) 現在のRDF発電事業の問題点 (2) 次期のごみ処理計画の問題点

市長の政治姿勢について

国の政治に対する見解

問 安倍政権の政策への見解を。
答 経済対策は厳しい地方財政に配慮しており、一定評価する。

市民生活の現状と対策

問 上記について聞きたい。
答 市民生活は厳しい。円安による物価上昇と市民生活への影響に注視し、ニーズ把握に努めたい。

社会保障政策と TPPへの見解と対策

問 上記について聞きたい。
答 貿易立国の日本にとって難しい問題。国の動向を注視したい。

総合計画を踏まえた 新年度予算案について

新年度予算編成の 基本的観点

問 上記について聞きたい。
答 将来に向けた投資、まちづくりに向け積極的に編成した。

市財政計画との整合性

問 後年度の負担増が心配だ。
答 元気臨時交付金等の活用で、地方債の発行抑制や後年度の公債費縮減ができる。

水道一元化問題について

水道一元化の手続きと鉅害 補償給水打ち切りの根拠

問 上記について聞きたい。
答 企業側が示している念書とボーリング調査結果は把握していないが、関係者間で一元化を進める環境が整ったと判断し、企業と自治体の役割分担で説明会を開催した。

大牟田市の問題と対策

問 市としてどう対応するのか。
答 市水切り替えまでの緩和措置の要望もあったが、公平性の観点から市の料金負担を求めたい。説明会ではまだ理解を得ていない状況であり、4月の説明会ではより理解を得られるよう説明したい。

世界遺産登録事業について

世界遺産登録事業の全体像

問 全体的な経費の見込みは。
答 まちづくりプランで示した額が4億6千万円、用地取得分が1億5千万円で、合計6億1千万円である(数字は概算)。

問 整備計画等の情報提供は。
答 市民参加と協働が必要な事業であり、様々な機会で示したい。

まちづくりについて

新栄町駅前地区 市街地再開発事業

問 概要を聞きたい。
答 概算事業費64億円。1.6haに駅ビルや分譲マンション等を建設。

大牟田市中心市街地活性化基本 計画とランドデザインとの整合性

問 整合を図るべきだと思うが。
答 グランドデザインには市も検討段階から参画しており、結果については市の計画にも反映したい。

ごみ処理計画と RDF発電事業について

次期のごみ処理計画の問題点



大牟田リサイクル発電所

問 事業を5年間延長する案が出たが、参加自治体の把握は。
答 6月までに最終的な意向を確認することとなる。

問 RDF事業の10年の総括は。
答 ダイオキシン対策や灰処理、安全性確保などの総括の上に、事業延長が提案されている。